

研究課題名	肺切除の治療戦略における術前術後 CT 画像解析法の開発
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科腫瘍外科学 教授 岡田 守人
研究期間	2021年3月4日 倫理委員会承認後 ~ 2024年03月

対象者 2007年01月から2022年12月の間に、広島大学病院呼吸器外科で肺切除による治療を受けられた患者。

意義・目的

肺癌をはじめとして胸腔に主座をおくさまざまな疾患を対象として手術治療が選択されます。

よび術中の所見を踏まえて適切な術式の選択に臨みます。術前術後画像検査においてCTは中心的なモダリティであり、その術前術後CT評価は適切な術式選択や術後の経過観察において非常に重要であり、CTより得られる情報をザイオソフト社から提供される画像解析ソフトウェアを用いて総合的に評価することで、これまでのCT所見以上に適切な治療戦略、つまり肺切除の術式選択を行うことが可能となり、術後の肺機能向上や予後の改善が期待できるため、研究を計画しました。

方法 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容はCT画像、年齢、性別、喫煙歴、画像上での腫瘍の大きさ・すりガラス陰影の割合・位置（左右、肺葉）、